

## 令和4年度 学校評価 西小学校パワーアッププラン

### 1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えて行動する児童が育つ、生き心地のよい学校づくり</li> <li>・教職員が笑顔で元気に働ける学校づくり</li> <li>・ウイズコロナを見通した教育活動の実現</li> </ul>
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びの実現と教科担任制の導入による自尊感情向上</li> <li>・学校運営協議会（西小コムスク）の認知度の向上</li> <li>・持続可能な校務処理を目指したICT化と見える化の実現</li> </ul>

### 2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	保護者・地域との連携	西小コムスクの認知度が高まる	A	集落座談会で取組紹介動画の上映、学校支援ボランティアの拡大に取り組んだ結果、周知度が向上した。次の5年を見据え、周知度向上と学校支援ボランティアの拡大に努める。
	生徒指導	「人を大切にする力」が伸びる	B	いじめアンケートと面談を毎学期実施し、児童会でいじめ暴力防止運動に取り組んだが、アンケート結果は横ばい。「名前を呼んでほめる」等の関わりで自己肯定感を高める。
教育課程	指導方法の工夫改善	「考えを伝え合う力」が伸びる	B	学びの個別最適化を目指した授業研究に取り組み、授業中に主体的に学ぶ児童の姿が増えた。伝え合う考えの内容が高まる授業の進め方を探るなど、授業の手立てを様々に考える。
	学習指導	「チャレンジする力」が伸びる	C	「100点より100%」を合言葉に、児童理解に基づいた関わりや体づくりに取り組んだが、児童アンケートの結果は低下した。安心して学習や物事に進んで取り組める体制づくりを見直す。
課題教育	情報教育	ICTや情報を活用している	B	タブレット端末の普段使い化、アンケート集計のICT化を進めた結果、スムーズな操作や集計の効率化が図れた。タブレット端末の目的を考えた使い方ができるよう指導する。

### 3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の課題をマイナスに捉えるのではなく、子どもをよく見ているから多く見つけたとプラスに捉え、先生の笑顔と元気につながるプラス思考を大切にする。</li> <li>・タブレット端末を考えて行動するための道具として使わせただけで、児童アンケートの設問を「自分で考えて行動しているか？」とすると目標に準じた評価につながる。</li> <li>・教科担任制の成果を活かした上で、体育を2学年合同にする、下校時刻を早める、等の教育課程の工夫で指導方法の工夫改善や学習指導を充実させる時間を生み出すと良い。</li> </ul>
--

### 4 次年度の改善の方向性

<p>学校運営協議会制度の周知度をさらに高め、関わる人材を増やします。また、日々の取り組みを肯定的に捉え、効果や成果に目を向けます。さらに、教育課程を一層工夫し教職員が子ども達と向き合える時間を増やします。このようにして元気で笑顔な職員室になることをめざします。</p> <p style="text-align: center;">令和 5年 2月 3日                  学校名 丹波市立西小学校                  校長名 梅垣 泰三</p>
---